

毎月22日は「人権を確かめ合う日」です

# 人権のひろば

〒 こだも未来課 青少年育成室  
(TEL) 354-8247 (FAX) 354-8444

## 「メディアとの上手な付き合い方」

こどもがスマホですっと動画を見ている。やめるように言っても聞かない。取り上げると怒る。こんなことで困っていませんか。

本市では毎年、保育園や幼稚園、こども園の保護者を対象に生活状況調査をしています。令和6年度の結果では、「生活リズムを整える上で困っていること」として「テレビや動画の視聴、スマホやゲーム等の扱いについて」の項目が最も高く、全体の約4割を占めています。

本市では、このような課題に対して家庭でのスマホやタブレット、パソコンなどの使い



啓発シートのダウンロードはこちら

方を見直せるように、啓発シート「メディアの使い方チェックデー」を作成し、メディアを使う際のルール作りを推奨しています。「やるべきことを済ませてから使う」「30分使ったら休憩する」など、具体的なルールを定め、実践することで生活リズムが整い、心身の健康保持につながります。啓発シートは市ホームページからダウンロードできます。メディアの利用状況や家庭の実情に合わせて、メディアと上手に付き合っていくためのルールを、こどもと話し合ってみませんか。



## あきこ 彬子女王殿下と萬古焼

4月7日(月)に、彬子女王殿下が、地方事業視察のため、ばんこの里会館を訪れました。視察に際して、私も石川議長(当時)とともにお出迎えをいたしました。殿下は、萬古陶磁器振興協同組合連合会の佐治副理事長と熊本理事から、平成10年に開館した同会館の概要や取り組み、萬古焼の説明を受けられるとともに、伝統工芸士の清水潤さんによる制作実演をご見学され、本市の代表的な地場産業であり、国の伝統工芸品にも指定されている四日市萬古焼の魅力を堪能されました。



殿下は、清水さんの見事な手仕事に、「職人技ですね」などのお言葉を寄せられたり、熱心にご質問されたり、萬古焼にご興味を抱いていただけた様子でした。

殿下のご訪問により、本市の誇る伝統産業が、さらに全国や、世界に発信される機会を得られたことを大変喜ばしく思います。



制作実演をご覧になる彬子女王殿下